

# 「えひめ<sup>あい</sup>AI」を使って 段ボールコンポストの虫発生や臭いを抑制！ 花や野菜を元気に！

「えひめ<sup>あい</sup>AI」は愛媛県工業技術センターで開発された環境浄化微生物で、身近な食品(ドライイースト、ヨーグルト、納豆、砂糖)を発酵培養した液体です。

「えひめ<sup>あい</sup>AI」を段ボールコンポストで活用すると、微生物の働きが活発化し堆肥化が促進されることで、堆肥温度が上昇し、虫の発生が抑制されます。堆肥化中の嫌な臭いを減らす効果もあります。また、花・木や野菜の葉面や根元に散布すると、生育促進や土壌改良などの効果があります。

## 【えひめ<sup>あい</sup>AIの作り方】

### ・材料(できあがり 500ml)

ドライイースト2~5g、プレーンヨーグルト25g、納豆1粒、砂糖15g、湯(約42℃)250ml(水でも可)

### ・道具

キッチンばかり、ボウル、かきまぜ棒(はしやスプーンでも可)、じょうご、500ml ペットボトル(あまり薄肉でないもの、炭酸飲料用があれば良い)

### ・作り方

- ①ボウルにドライイーストと砂糖を入れて、よくかきまぜる。
- ②さらにヨーグルトとすりつぶした納豆を入れて、よくかきまぜる。
- ③湯(または水)を入れてよくかきまぜる。
- ④ボウルの中身を、じょうごを使ってペットボトルに移す。
- ⑤夏場は、ペットボトルの蓋をゆるめて、24時間ほど、ペットボトルを家の外で放置する。  
※発酵で内容物の圧力が上がるので、蓋をきつく閉めるとペットボトルが膨張してしまう。  
夏場以外は、ペットボトルをビニール袋でくるみ段ボールコンポストに入れて、24時間ほど温める。
- ⑥ペットボトルの中身がパンやワインのような良い香りに(少し酸っぱく)なっていればOK。
- ⑦水を足して500mlにする。
- ⑧ペットボトルの蓋をゆるめてしばらく静置する。「上澄み」と「おり(沈殿物：微生物死骸)」に分かれたら、各々、別のペットボトルに移す。「上澄み」は常温保存、「おり」は冷蔵庫保管が好ましい。



## 【えひめ<sup>あい</sup>AIの段ボールコンポスト、花・木や野菜栽培への活用】

### \*堆肥化の促進、虫発生の抑制、臭いをへらす

- ・段ボールコンポストを新しい基材で始める時、「上澄み」を適量、水分調整用に加える。
- ・段ボールコンポストに生ごみを投入する時、「上澄み」または「おり」を水でうすめたものをまんべんなくスプレーしてかきまぜる。※コンポスト開口部を常時、虫よけカバー(不織布)で覆っておく。

### \*花・木や野菜の生育促進

- ・「上澄み」を500~1000倍ほどの水で薄めて、葉面や根元に散布する。毎日でも毎週1回でも。
- ・「おり」を水で薄めて、土に散布し肥料にする。

※注意：「上澄み」は1ヶ月程度を目安に使いきってください。薄めずに使用すると、作物を傷める可能性があります。腐敗臭がしたら土にまいてください。

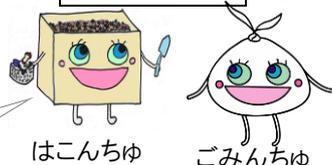
えひめAIは環境用資材であり、飲用ではありません。

【参照】えひめ<sup>あい</sup>AIの特徴や作り方、活用方法については、インターネット等で参照できます。

### ・愛媛県のえひめ<sup>あい</sup>AI紹介ホームページ：

<https://www.pref.ehime.jp/h30103/sangiken/gijutu/ai-2.html?edit=1&mode=preview>

- ・その他えひめAIに関する情報は、えひめAIで検索！



もくもくダンポで楽しく堆肥化!

はこんちゅ

ごみんちゅ

(お問い合わせ) 小田原<sup>いき</sup>生ごみクラブ事務局  
環境政策課 ☎0465-33-1471)  
会長 濱野 昌平